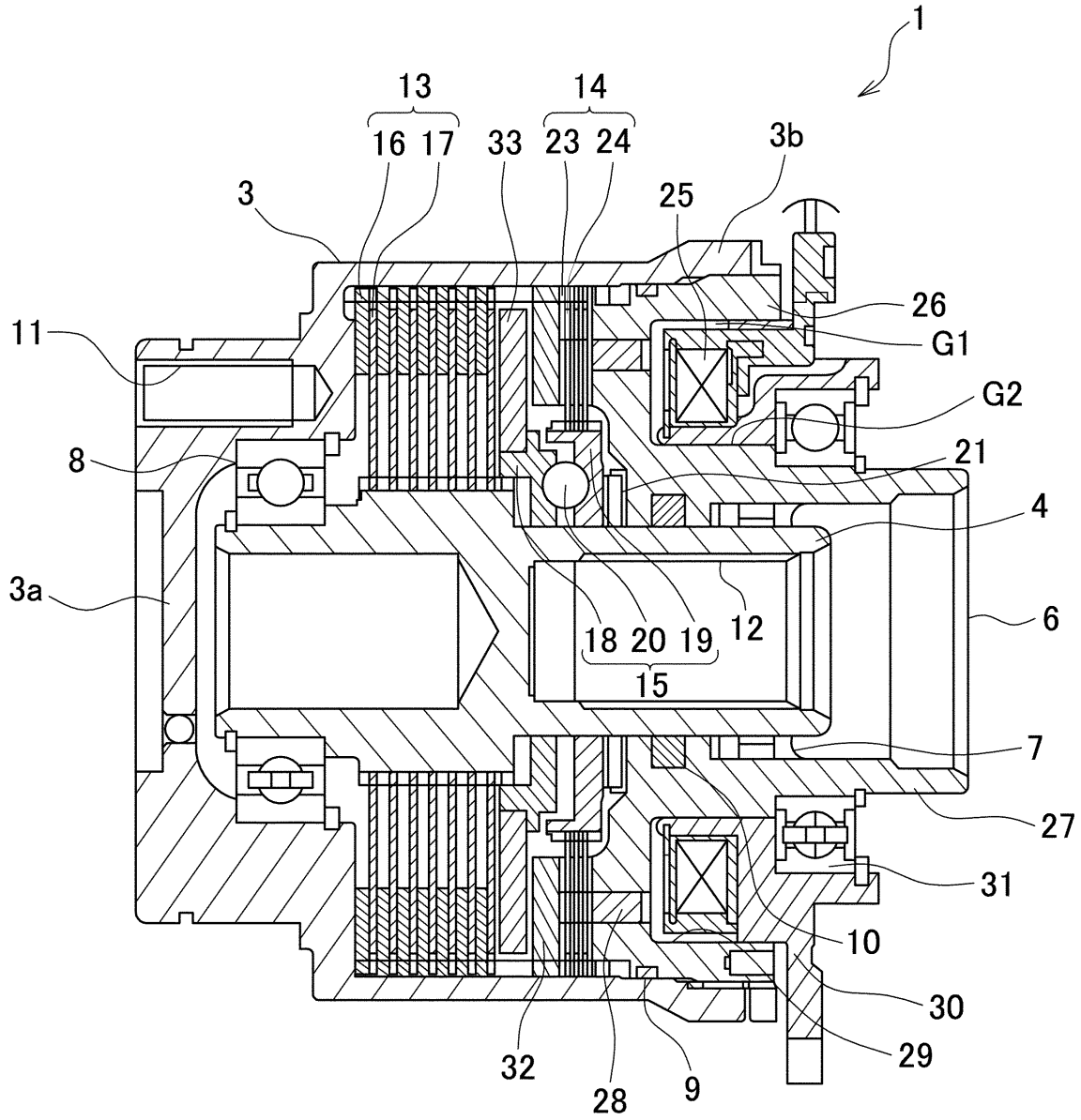
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】平成27年9月24日(2015.9.24)

【公開番号】特開2014-43871(P2014-43871A)
【公開日】平成26年3月13日(2014.3.13)
【年通号数】公開・登録公報2014-013
【出願番号】特願2012-185342(P2012-185342)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｄ　27/115　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｄ　27/10　３５１Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成27年8月7日(2015.8.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項２】
請求項１に記載の駆動力伝達装置において、
前記クラッチ押圧部材は、円環状に前記メインカムの本体部材とは別体に形成されたことを特徴とする駆動力伝達装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
第１回転部材としてのアウタハウジング３は、その開口端３ｂには、環状のリヤハウジング６が嵌着されている。また、第２回転部材としてのインナシャフト４は、リヤハウジング６の内周に設けられたニードル軸受７およびアウタハウジング３の筒内に設けられたボール軸受８により回転自在に支承されている。そして、アウタハウジング３の筒内は、同アウタハウジング３とリヤハウジング６との嵌合部、およびリヤハウジング６の内周とインナシャフト４の外周との間に設けられたシール部材９，１０により封止され、その筒内には潤滑油が収容されている。
【手続補正３】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図１
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図１】


1
13
14
16 17
33
23 24
3b
3
25
26
11
G1
G2
8
21
4
3a
18 20 19
12
15
6
7
27
31
10
30
29
32
28
9